

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	インターナショナルアンジェリカ下目黒6丁目保育園
施設所在地	東京都目黒区下目黒6-15-18
法人名	株式会社WITH

1. 活動のテーマ

<テーマ>

用具の大きさや軽さ、弾み方の違いを感じ取り、状況に合わせて力加減や動きを調節する。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
色々な素材があることを知ること、ボールそれぞれの力加減の違いに興味を持っている。園内に素材の違うボールの種類が少ない為、色々な種類を知る。

2. 活動スケジュール

ボールを用いた色々な遊びを提供するスペースと巧技台を使ったプレイゾーンに分けて行っていく。活動前にグループに分かれ、自分の行いたい遊びを言葉で伝える時間を設け、活動後には同じグループで振り返りを行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
巧技台、はしご、滑り台、丸形はしご、風船、テーブル、はしご、コーン、マット、ティーバット、ボール、お手玉ボール、白ボール

4. 探究活動の実践

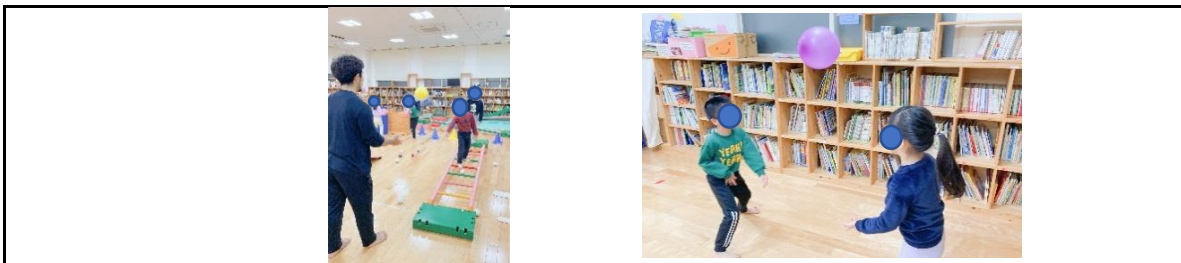
<活動の内容>

プレイゾーンでは滑り台や丸形はしごを使用し、移動系の動きを楽しむ。チャレンジゾーンでは色々な種類のボールを用いて、コーンに向かって投げたり、バットを使って打ったりしながら状況に応じて力加減を変えて動く。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

活動前に自分のしたい遊びを言葉で伝える際には、頭では分かっているが言葉にするのは難しいという姿が見られた。保育者や講師が援助を行うと、段々出来ていた。活動ではボールの大きさや重さの違いやボールを置く高さの違いを感じ、「高い方だと打ちやすいが、低い方は小さいから力が出しにくい。」と話しており、環境に応じて身体の使い方を変えている姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

事前に言葉で自分の行う遊びを伝えることで見通しを持って参加し、遊びに入りやすかったり集中力が高まったりすることが分かった。また、活動後にはリコールを行うことで経験を言葉にし、メタ認知能力が向上するとともに、話す側、聞く側の態度も学ぶことが出来るのだと感じた。今回は色々な道具を用いた為、用具を使うためのルールを決め、ある程度のルールという枠組みの中で自由に選択をして遊ぶことが大切だと感じた。